

平成28年度 事業計画書

献眼登録の件数は、各ライオンズクラブ及び白菊会の協力を得て一定水準を維持している。
27年度の献眼は、4名にとどまり低調であった。県内で移植待ちの患者（レシピエント）の治療を賄うにはまだ遠い道のりであり、厳しい現実を実感している。
当財団では、本年4月に設立30周年を迎えるなか、献眼者の増加をはかる為の広報活動の充実、また、財務体質等を改善する為の運営基盤をさらに強化する必要がある。
このために、下記の事項を本年度の事業計画として実施する。

記

1. 愛媛アイバンク設立30周年記念事業を開催する。

- (1) 愛媛アイバンクの活動について、より多くの人に関心をもってもらう。
- (2) アイバンク役職員一同が原点に立返るとともに、各支援団体への協力要請を強化する。

＜記念事業の概要（予定）＞

1. 日 時 平成28年9月4日（日）10時～13時
2. 場 所 愛媛県医師会館
3. 事業内容
 - (1) 記念式典
 - (2) 記念講演 愛媛大学大橋学長 「今からできる目の健康法」
 - (3) 短編映画上映 「ヒカリ」 主演：滝沢秀明 共演：水野真紀、中山優馬
制作：ジャニーズ事務所
 - (4) チャリティーピアノコンサート
河端 梢氏 他

2. 献眼者の増加をはかるための活動

- (1) 主要医療機関の院内コーディネーター、医師及び愛媛県臓器移植支援センターとの連携を密にする。
- (2) 県内のライオンズクラブに協力してもらい、献眼登録キャンペーンを実施する。
- (3) 愛媛大学白菊会との連携をはかり、会員の皆様に献眼についての理解を深めてもらう。
- (4) 献眼意思表示のマグネットシールを登録者に配付することにより、シールを任意の場所に貼付してもらい、献眼の意思とアイバンクへの連絡先が家族に周知されるよう働きかける。

3. 献眼についての理解を深めていただくための活動

- (1) 年1回発行する「愛媛アイバンクだより」を、親しみやすい企画にする。
- (2) 「献眼」について、より多くの人に理解されるよう「講演会」「説明会」を開催する。
- (3) 公共施設等に、「愛媛アイバンクだより」「献眼登録リーフレット」の設置を積極的に依頼する。

4. 運営基盤の強化

- (1) 寄附金の税額控除優遇制度の告知を推進し新規賛助会員の開拓をはかり、賛助会費未納付者には再度振込を依頼し未納付者の減少に努める。
- (2) 「募金箱」および「支援型自動販売機」の設置依頼を積極的に行う。
- (3) 献眼時のコーディネーターの対応等をより円滑に行うため、積極的にセミナーに参加する。

以 上